

平成27年度香川県がん患者ニーズ調査結果の概要

1 目的

この調査は、がん患者の療養生活の実態や意見等について調査を行い、がん医療に関する状況の変化を鑑みつつがん患者の持つニーズを把握することにより、第2次香川県がん対策推進計画の進捗に関し中間評価を行うための資料を得ることを目的とする。

2 実施主体

香川県（香川大学医学部医学教育学講座に委託）

3 調査項目

平成24年度に第2次香川県がん対策推進計画策定のためニーズ調査を実施しており、これとの比較のため、調査項目は基本的には同一とした。

4 調査方法

- (1) 調査対象 香川県内のがん診療連携拠点病院等にてがんと診断され、治療が開始している外来患者及び入院患者
- (2) 配布数 約650件（うち有効アンケート数 391件）
- (3) 対象選定 調査期間中に外来に受診もしくは入院している者
- (4) 調査方法 外来もしくは病棟にて別添の調査用紙と封筒を配布し、直接又は郵送により回収
- (5) 調査期間 平成27年10月～平成28年1月

5 調査の内容

- (1) ご自身の全般の状況について（12項目 かかりつけ医の有無などを含む）
- (2) がんと診断・病名を告げられた当初のご経験について（9項目）
- (3) 療養生活の中での不安や負担（19項目）
- (4) 療養生活の中での辛い症状の緩和（5項目）
- (5) まとめ（3項目）

※前回の調査に比較し変化のあった項目のうち、主なものについて裏面に記載

(1) ご自身の全般の状況について (12項目 かかりつけ医の有無などを含む)

- ・【かかりつけ医への相談や治療の状況】(問12-1)

かかりつけ医がいる患者の割合が増加【H24調査 36.4% ⇒ 今回調査 42.3%】

(2) 療養生活の中での不安や負担 (19項目)

- ・【高額療養費の利用】(問22)

高額療養費制度を利用したことがあると回答した患者の割合が増加

【H24調査 65.3% ⇒ 今回調査 71.1%】

(3) 療養生活の中での不安や負担 (12項目)

- ・【がんと診断されたことを職場に伝えたか】(問23-1)

職場へ診断内容を報告したと回答した割合が減少

【H24調査 82.6% ⇒ 今回調査 72.3%】

- ・【がんと診断された後の仕事の状況】(問23-2)

仕事を継続したと回答した者の割合が増加

【H24調査 55.8% ⇒ 今回調査 66.8%】

仕事の内容や量を調節して同じ職場で仕事を継続している割合が増加

【H24調査 20.5% ⇒ 今回調査 33.1%】

- ・【がんと診断された後の就学の状況】(問23-5)

- ・治療前と同様の学校に通えていると回答した割合が増加

【H24調査 33.3% ⇒ 今回調査 42.9%】

(4) 療養生活の中での辛い症状の緩和 (5項目)

【緩和ケアへの満足度】(問29-1)

満足したと回答した者の割合は前回調査よりも減少したが、約8割の人が満足している。【H24調査 87.0% ⇒ 今回調査 78.4%】